

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域六事産業化推進事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人地域づくり美麻 (大町市美麻 16981 番地)
事業区分	ソフト
事業タイプ	女性・若者に選ばれる県づくり
総事業費	2,334,046 円 (うち支援金: 1,864,000 円)

事業内容

ア) 移住希望者向けに居住可能な住宅(空き家)が不足しているため、活用予定のない空き家を利用可能な宅地とするために解体作業を行いました。解体で出た木材などを有効活用するため、ワークショップを通じてさまざまな活用方法を検討しました。また、関西学院大学の学生や国際ボランティア NGO NICE と連携したワークキャンププログラムを通じて、全国から参加者(6名)を募り、若い世代の交流人口の増加を目指しました。

イ) 移動支援事業利用者の利便性向上と担い手確保を目的に、スマートフォンを使って利用予約とボランティア調整ができるアプリを開発し、利用者とボランティアとの検討会を開催しました。



【移住希望者も参加した古民家片付け作業】

【目標・ねらい】

- ① 移住・定住人口の増加
- ② 若年交流人口の獲得
- ③ 生活支援事業の充実・定着

事業効果

ア) 事業

- ① 移住者向け住宅用地の確保に向けた古民家解体(1/3)
- ② 片付けワークショップ実施(2回、20名)
- ③ 他団体と連携した交流人口獲得活動(2団体)
- ④ 明治時代のポスター展(3会場 100名)
- ⑤ 支障木伐採による山裾景観整備(l=100m)
- ⑥ 排出材等有効活用 薪づくり 5 m³、参加者 10 名)
- ⑦ 引取りバザー 2回(10/29、11/29)

イ) 事業

- ⑧ 移動支援予約システム開発
- ⑨ システム運用に向けた検討会の開催(10名)

※自己評価【B】

【理由】

- ・移住希望者の参加を得て古民家解体作業が実施できた。(100%)
- ・外部団体と連携した交流人口獲得ができた。(+1 団体)
- ・移動支援予約アプリの開発(100%)

今後の取り組み

- ・古民家の解体については、計画的に作業を進めるとともに、排出材を活用したワークショップの開催や、再利用可能な体制を構築し、環境に優しい移住環境の構築を進めていく。
- ・交流人口の獲得については、外部団体との連携を密にしながら、移住希望者を通じて参加者募るなど、古民家解体と合わせた体験プログラムの創出を進めていく。
- ・生活支援については、開発したアプリの活用を通じて持続可能な事業実施体制づくりを進めるとともに、高齢者を中心にスマホを生活の中で活用できるためのITリテラシーの向上に資する事業を展開していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある